

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年11月8日 第32報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	3		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	10		
(藍) <i>Aphanizomenon sp.</i> *	2400		
(藍) <i>Anabaena spiroides var. crassa</i> *	1		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion tatricum</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas pseudocoronata</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	230		
(珪) <i>Cyclotella stelligera</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	30		
(珪) <i>Cyclotella pseudostelligera</i>	100		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	40		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	250		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	5		
(緑) <i>Closterium gracile</i>	1		
(緑) <i>Closterium acutum var. variable</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	29		
(他) <i>Tetraselmis cordiformis</i>	20		
(藍) 藍藻綱	2414	71.2	86.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	100	2.9	0.4
(珪) 珪藻綱	420	12.4	2.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.3	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	350	10.3	1.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	78	2.3	7.6
(他) その他のプランクトン	20	0.6	1.2
総細胞数	3392	総体積	1.3E+07
種類数	22	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Tintinnopsis cratera</i>	780

第2優占種		個体数 (個体/l)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	80

*個体数については、プランクトンネット(300 μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

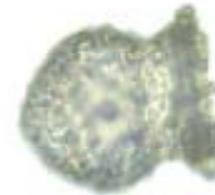
植物プランクトン第1優占種

Aphanizomenon flos-aquae (アファニゾメノン) 藍藻綱

細胞は円筒形で、たてに繋がり糸状の群体を作る。群体の両端の細胞は長く伸びかつ、白色化する。ヘテロシスト、アキネ - トを持つ。多数の群体が束の様に集まる。

動物プランクトン第1優占種

Tintinnopsis cratera (スナカラムシ) 繊毛虫類



壺のような固い殻を持ち、その殻は、砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント:

植物プランクトンは細胞数、体積とも藍藻のアファニゾメノンが優占種となった。本種は今年度初めて琵琶湖でみられた種である。北海道の網走湖、シラルトロ湖、塘路湖、大沼での分布が報告されている。静水および2次的に流水にみられる非常に広分布種で北半球の温帯に広く分布する。塩分濃度の比較的高い汽水湖にも見られる。冬季にも増加して水の華を形成する事があるとされている。